



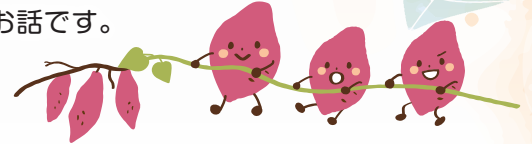
阪神北広域こども急病センター



ニュースレター

2026年度
秋号

木々が色づき、過ごしやすい季節になってきました。子どもは日々成長し、日ごとにできる事が増えていきます。こどもの成長はとてもうれしい事ですが、できる事が増えると危険も増えます。今回は、子どもの事故の中でも注意していただきたい『誤飲』についてのお話です。



→ 誤飲とは

生後5～6か月頃から手につかんだものを何でも口を持っていくようになり、目を離れた間に思いがけない物を口に入れてしまいます。すぐに受診が必要なものや、飲んだものや量によって対処も変わってきます。センターでは誤飲の対処はできませんが、電話相談で対応についてご相談いただけます。

→ 身近にある危険なもの ※飲んだものと同じものがあれば持参して受診しましょう。

ボタン電池 胃や食道の壁などを短時間で傷つけ、穴をあけることもある。 磁石 2個以上 飲み込むと、胃などの粘膜が挟まれて詰まったり、穴をあけることもある。 鋭利な物 腸などに穴をあけたりひっかかったりして内臓を傷つける可能性がある。 →無理に吐かせない 何も飲ませない	医薬品 特に大人に処方された薬は、こどもに重い中毒症状を引き起こすことがある。 →無理に吐かせない 洗剤 界面活性剤などにより、のどや口の中の痛み、嘔吐、腹痛などが起こる。 →可能なら口をゆすぐ 吐かせない	タバコ ・たばこ1本分のニコチンは命の危険がある。 ・吸い殻を浸した液体はニコチンが多く溶け出ているため危険。 ・加熱式たばこでは、内部の金属片も誤飲することがある。 ・未使用の紙巻たばこ2cm未満の誤飲であれば、様子をみていい場合もある。 →口にあるものは取り除く 何も飲ませない
---	---	---

そのほか身近なものでは、包装フィルムや兄弟が遊んでいるシールなどにも注意が必要です。危険なものは、ほかにもたくさんあります。こどもの目線になって危険なものがないか確認してみましょう。

→ 誤飲したもので対応に悩んだら

公益財団法人日本中毒情報センターで、化学物質（タバコ、家庭用品など）、医薬品、動植物の毒などによっておこる急性の中毒について情報提供・相談を実施しています。

■大阪中毒110番	072-727-2499(365日24時間対応)
■つくば中毒110番	029-852-9999(365日24時間対応)
■たばこ誤飲事故専用電話(自動音声応答)	072-726-9922(365日24時間対応)

→ 誤飲しないために 子どもの目の届かない、手の届かないところにおきましょう。

誤飲は5歳以下のこどもに多い事故です。こどもの成長によって広がる行動範囲を把握しながら、絶対に手が届かない場所か、鍵のかかる場所などに保管しましょう。

周りにいる大人が注意することで誤飲事故は防ぐことができます。

誤飲している場面を見つけたら

口に入れている時に驚かせてしまうと、その拍子に飲み込んでしまうことがあります。大きな声を出さずにそっと口から取り出しましょう。



誤飲したもので窒息してしまったら

急に咳込んだり、ゼーゼー、ヒューヒューという音が聞こえたりします。詰まって息ができなくなると3～4分で顔が青紫色になり、5～6分で呼吸が止まり意識を失います。一刻も早い応急処置が必要です。窒息に気づいたらすぐに救急車を呼び、救急車が来るまでの間詰まったものを吐き出させるための応急処置を行いましょう。

1歳以上 内臓損傷などのリスクが低く、安全かつ確実に実施できる「背部叩打法」をまずは実施する		1歳未満	
腹部突き上げ法	背部叩打法	胸部突き上げ法	背部叩打法
- こどもの後ろから腹部に両手を回し、片手で握りこぶしを作る - こぶしの親指側をこどものへそのやや上に押し当てる - こぶしをもう一方の手で握り、手前上方に素早く突き上げる	手の平の付け根で、背中の中を異物が取れるか反応がなくなるまで強くたたく	片手で身体を支え、手の平で後頭部をしっかりと支える。心肺蘇生法の胸骨圧迫と同じやり方で圧迫する。	片手で身体を支え、手の平であごをしっかりと支える。もう一方の手の平の付け根で背中をしっかりとたたく。
		1歳未満の乳児 ※意識のあるときのみ 数回ずつ交互に行なう	

※異物を取り出せず、子どもの意識がなくなってしまった時には、心肺蘇生を行ってください。

電話相談をご利用ください

◆阪神北広域こども急病センターでは、看護師による電話相談を行っています。

☎ 電話相談 ☎

072-770-9981



*発信者番号を通知の上、おかけください

☎ 相談受付時間 ☎

平 日	午後 8 : 00 ～ 翌朝 6 : 30
土 曜 日	午後 3 : 00 ～ 翌朝 6 : 30
日・祝日・年末年始 (12/29-1/3)	午前 9 : 00 ～ 翌朝 6 : 30

こどもの急病でお困りのときは、お気軽にご相談ください。

診療のご案内

診療科目		小児科(15歳以下、中学生まで) ※原則、内科の診療となります
診療受付時間	平 日	午後 7 : 30 ～ 翌朝 6 : 30 診察開始は午後 8 時から
	土 曜 日	午後 2 : 30 ～ 翌朝 6 : 30 診察開始は午後 3 時から
	日・祝日・年末年始 (12/29-1/3)	午前 8 : 30 ～ 翌朝 6 : 30 診察開始は午前 9 時から

道路地図



阪神北広域こども急病センター

〒664-0015 伊丹市昆陽池 2 丁目 10 番地
https://www.hanshink-kodomoqq.jp/

TEL : 072-770-9988

FAX : 072-770-9905